

「ふじのくに地域・大学フォーラム」発表内容の概要

「今の会社に勤め続けたいと思っている若手社員の特徴とは？」

入社2、3年目の若手社員を対象にしたアンケート調査によって、以下の事柄を明らかにしました。

1. 入社前に会社の現実（リアル）を理解していると「今の会社に勤め続けたい」と考える割合が高い

現在の勤め先が、就職活動中、学生に対して社内の現実をどの程度開示していたかを尋ねました。会社が、良い面も悪い面もありのまま開示していた場合に「開示されていた」を選びます。

その結果、「社内の現実が開示されていた」と答えた者は「今後も現在の会社で働きたい」と考える割合が高いことが分かりました。特に「会社でのキャリア開発」を事前理解して入社した者が、今後も現在の会社で働きたいと答えています。上記に加えて、企業へのインタビュー調査でも、入社希望者に会社の現実を伝えている好事例を調べました。

2. 現勤務先のインターンシップに参加したうえで入社した者は「今の会社に勤め続けたい」と考える割合が高い

インターンシップに参加したうえで入社した者は、今勤めている会社で働き続けたいと思えるという結果が得られました。特に、インターンシップ経由の入社は「仕事内容」、「職場の人間関係」、「能力・専門を活かせる機会」において、従業員と会社の良好なマッチングが実現しています。インターンシップに参加するにしても、入った会社と同業種の別会社や、別業種の会社だと、マッチングの効果が認められませんでした。

3. 学生時代から明確な目標があった者は「今の会社に勤め続けたい」と考える割合が高い

学生時代に将来に向けて明確な目標があると、今勤めている会社で働き続けたいと思えるという結果が得られました。

以上